

# ひめじ健康プラン(第3次)(姫路市保健計画)モニタリング指標

基本目標  
1

子ども達が将来の姫路を支えるために、心身ともに健康に成長できる

達成すべき目標	モニタリング指標	担当課 <sup>※1</sup>	現在値 令和 4 年 (2022 年)	目標値 令和 11 年 (2029 年)
①子どもは、必要なときに支援を受けながら、自分を大切にし、自己決定をすることができる	乳児家庭全戸訪問 訪問率	保健所健康課	96.4%	100%
	むし歯のない幼児の割合（3歳児）	保健所健康課	90.4%	95%
	1日3回主食、主菜、副菜のそろった食事をしている幼児の割合	保健所健康課	25.6%	50%
	自分を大切にする自己決定について、理解している子どもの割合（中1、中3）	子どもの未来健康支援センター	92.7%	100%
	プレコンセプションケアを知っている子どもの割合（中3）	子どもの未来健康支援センター	—	50%
	10代のクラミジア感染者数	保健所予防課	16人 <sup>※2</sup>	10人
②保護者は、不安なく楽しく子育てができる	全妊婦面接相談支援事業 面接率	保健所健康課	96.7%	100%
	楽しく子育てに取り組めている保護者の割合	保健所健康課	96.2%	98%
	親同士の交流機会がある人の割合	保健所健康課	61.7%	85%
③市民は、子育てに関心を持ち、自ら参加できる範囲で子育てに関わる	マタニティマークの利用率	保健所健康課	75.2%	増加
	ファミリーサポートセンター事業提供・両方会員数	こども支援課	810人	増加
④行政は、市民が安全に妊娠・出産し、健やかに成長できる環境をつくる	今後もこの地域で子育てをしていきたい人の割合	保健所健康課	93.2%	95%
	周産期連絡会の開催	子どもの未来健康支援センター	年4回	継続
	思春期担当者連絡会議の開催	子どもの未来健康支援センター	年3回	継続
	食育推進会議、幹事会・検討部会の開催	保健所健康課	各1回	継続

※1 「担当課」はモニタリング指標を取りまとめる担当課

※2 市内性感染症定点医療機関4か所の年間合計人数

基本目標  
2

市民が社会の一員として自らの役割を担えるよう、健康な生活を送ることができる

達成すべき目標	モニタリング指標	担当課※1	現在値 令和4年 (2022年)	目標値 令和11年 (2029年)
①市民は、病気に対する知識を持ち、健康的な生活を送るために選択ができる	H P V 予防接種 接種率	保健所予防課	27.1%	50%
	運動習慣がある人の割合	国民健康保険課	40.9%	50%
	特定健康診査 受診率	国民健康保険課	34.8%	60%
	メタボリックシンドローム、予備群該当者の割合	国民健康保険課	32.1%	28%
	がん検診受診率（大腸がん）	保健所予防課	5.9%	16%
②市民は、病気や障害があつても、自分らしく生活することができます	新規透析導入者数	国民健康保険課	49人	維持または減少
	脳血管疾患患者割合	国民健康保険課	3.9%※2	維持または減少
	虚血性心疾患患者割合	国民健康保険課	3.3%※2	維持または減少
	退院後生活支援事業 実施率	保健所健康課	89%	95%
	人工呼吸器マニュアル作成率（全体）	保健所予防課	84%	100%
③行政と企業・関係機関は、市民が健康的な生活ができるよう情報発信をするとともに、環境を整える	禁煙協力店舗数	保健所健康課	282店舗	350店舗
	喫煙率（40歳以上の特定健康診査受診者）	国民健康保険課	11.8%	5%
	精神保健福祉に関する連携会議の開催回数	保健所健康課	165回	180回
④行政は、市民が病気になつても重症化しないよう、必要な医療や介護、生活支援が受けられる体制をつくる	糖尿病重症化予防歯科検診登録医療機関数	保健所健康課	154 医療機関	増加
	透析ハイリスク者予防事業登録医療機関数	保健所健康課	81 医療機関	増加
	精神保健福祉に関する支援者対象の研修会の参加者数	保健所健康課	234人	280人

※1 「担当課」はモニタリング指標を取りまとめる担当課

※2 国民健康保険定点報告（6月審査分）の割合

基本目標  
3

市民が何歳になっても、自分らしくいきいき過ごすために、みんなが支えあって、  
健康にくらすことができる

達成すべき目標	モニタリング指標	担当課*	現在値 令和4年 (2022年)	目標値 令和11年 (2029年)
① 市民は、自立した生活を目指し、主体的に介護予防の取組ができる	介護予防普及啓発事業参加者数	高齢者支援課	6,796人	14,000人
	1日3回きちんと食べている高齢者の割合	後期高齢者医療保険課	95.8%	100%
	半年前と比べて固いものが食べにくくなった人の割合	後期高齢者医療保険課	27.9%	維持または減少
	ウォーキング等の運動を週に1回以上している人の割合	後期高齢者医療保険課	66.6%	維持または増加
② 市民は、交流の場や必要な支援を通じて、いつまでも元気にくらすことができる	いきいき百歳体操グループ数	高齢者支援課	479	670
	いきいき百歳体操の参加率	高齢者支援課	高齢者人口の5.8%	高齢者人口の8%
	認知症サロンのグループ数	高齢者支援課	93	110
	認知症サロンの参加者数（登録数）	高齢者支援課	2,784人	3,000人
③ 市民と行政・関係機関は、連携・協働しながら地域で相互に支える体制をつくる	認知症初期集中支援事業を活用した人の中で、医療・介護サービスに適切につながった人の割合	高齢者支援課	100%	100%
	認知症サポーター養成講座の受講者数	高齢者支援課	46,837人	60,000人
	地域の情報や課題の共有・地域に即したサービス提供や資源開発の検討を行った地区的割合	高齢者支援課	63.0%	83.6%

\*「担当課」はモニタリング指標を取りまとめる担当課

担当課が高齢者支援課の目標値については、「姫路市高齢者保健福祉計画及び姫路市介護保険事業計画」と連動しており、目標年を令和8年（2026年）とする。

## ひめじ・いのち支え合いプラン(第2次)(姫路市自殺対策計画)モニタリング指標

達成すべき目標	モニタリング指標	担当課	現在値 令和 4 年 (2022 年)	目標値 令和 11 年 (2029 年)
①行政は、自殺対策を推進するため地域におけるネットワークを強化する	自殺対策連絡会議の開催回数	保健所健康課	2 回	2 回
	いのちの教育推進連絡会議の実施	保健所健康課	実施	継続
	生活支援体制整備事業の実施	高齢者支援課	実施	継続
	生活困窮者自立支援連絡会の実施	生活援護室	実施	継続
	重層的支援体制整備事業の実施	地域福祉課	実施	継続
②市民は、悩みを抱えた人が孤立しないよう、身近な人の危険信号に気づき、必要な見守りができる力を身につける	職員向けゲートキーパー研修の参加者数（累積）	研修厚生センター 保健所健康課	1,400 人	2,900 人
	職員向けゲートキーパー研修の参加者で「ゲートキーパーの役割について理解が深まった」と答える人の割合	保健所健康課	97.3%	100%
	地域・支援者向けゲートキーパー研修の参加者数（累積）	保健所健康課	2,145 人	4,500 人
	地域・支援者向けゲートキーパー研修の参加者で「ゲートキーパーの役割について理解が深まった」と答える人の割合	保健所健康課	98.9%	100%
	教職員向けゲートキーパー研修の実施	保健所健康課 教育研修課	実施	継続
③市民は、ストレスやこころの健康づくりについての正しい知識や相談先について知る	自殺予防週間と自殺対策強化月間における啓発の実施	保健所健康課	実施	継続
	児童生徒への S O S の出し方に関する教育の実施	保健所健康課 こどもの未来健康支援センター 人権教育課 育成支援課	全校実施	継続
	こころの健康教育や講演会の実施回数（年）	保健所健康課	11 回	25 回
④行政は、悩みを抱える人を支援する体制をつくる	総合相談会の開催回数	保健所健康課 総合福祉会館	2 回	2 回
	児童生徒への S O S の出し方に関する教育（思春期出前授業）の参加者で「悩んだ時の対応」について理解した生徒の割合	保健所健康課 こどもの未来健康支援センター	91.7%	100%
	自殺未遂者支援事業対象者のうち、支援した人の割合	保健所健康課	100%	100%
	自殺者のうち未遂歴のある人の数	保健所健康課	20 人	減少
	楽しく子育てに取り組めている保護者の割合（乳幼児健康診査時アンケート）	保健所健康課	96.2%	98%
	いきいき百歳体操の参加率	高齢者支援課	高齢者人口の 5.8%	高齢者人口の 8 %*

※「姫路市高齢者保健福祉計画及び姫路市介護保険事業計画」と連動しており、目標年を令和 8 年（2026 年）とする。